

愛妻の三回忌に、ふたたび息子たちとの絆を取り戻そうとする男…



しかし、思い通りに口は動かず。
今日も、歩いて、歩いて、吹雪の中を。
時にはついでに死んだふりもして…



2001年カンヌ国際映画祭公式出品のある視点部門

歩く人

小林政広 監督作品



緒形 拳 林 泰文 占部房子 石井佐代子 大塚寧々 香川照之

プロデュース 脚本 監督 小林政広 製作 モンキータウンプロダクション
撮影 北原康 照明 村区博 録音 瀬谷満 編集 木下トシヲプロダクションプロデューサー 金子尚樹 音楽 サンサンダンス 動物たちの楽園 あり アレンジ 樫原龍也 テーマ曲 水原真由子 アレンジ 佐久間信平

©2001 by Monky Town Production. All rights reserved. 配給 松竹映画



北海道を舞台に綴られる父と息子の物語。そこに流れる静かな孤独感が見る者の感動を呼びさまし、時に織り交ざるからつとしたユーモアが共感の笑みを誘う。2001年カンヌ国際映画祭で満場の観客から大きな支持を受けた珠玉の「家族の物語」がいよいよ公開!

にじみ出る、父と二人の息子の不器用な家族愛。母を亡くした家庭の再生のドラマ。

北海道増毛町、最愛の妻であり母を亡くし、一家の求心力を失って心ざらばらになってしまった家族。初老の頑固親父、信雄は毎日、山を街を、吹雪の中さえも往復16キロ、愛妻を亡くした底抜けの寂しさを、息子とのわだかまり、素直になれないもどかしさを抱えて、自分と対峙するかのようによく歩く。信雄は、妻の三回忌に再び息子との絆をとりもどそうとするのだが…。

3年連続カンヌ国際映画祭出品を果たした

小林政広監督の稀有な才能。

緒形拳との出会いが生み出した、パーソナルであるが普遍的な映像世界。

本作「歩く、人」で「海賊版=BOOTLEG FILM」「殺し」に続き3年連続カンヌ国際映画祭に出品を果たした小林政広監督。監督が16年前に書いたシナリオを緒形拳が再発見、この父親役を是非演じたい」と申し出て、舞台を北海道に移し映画化。自身が育った家庭と家族との経験を元に撮り上げた「歩く、人」で、これまで描かれることの少なかった「男」の親子関係を「男」の視点で描き、見事に新境地を開いた。

父親の孤独感と頑固さをユーモアで包みこみ、圧倒的な存在感をみせる緒形拳。タイトルの題字、本編に挿入される自作の川柳も緒形の直筆と、多才ぶりを発揮している。テレビ、映画に活躍目覚ましい香川照之は、理想と現実のギャップに葛藤する長男を絶妙に演じた。そして繊細な雰囲気の中に男らしさを混えた次男役の林泰文。また、男たちを優しく見守る芯の強い女性像を大塚寧々、占部房子、石井佐代子が演じ、映画に温かみを与えている。そして、名曲サン・サーン「動物たちの謝肉祭」の楽曲が映画に溢れんばかりの詩情をもたらしている。

「みんな、大きくなって帰ってこい…みんな帰ってこいよ。」
大海に旅立つ鮭の稚魚たち、

そして息子たちに向かって叫ばれる父親の心の声が胸に響く。

酒屋を営む66歳の本間信雄は2年前にがんで恋人房を亡くし、家業を継いだ次男と二人暮らし。長男は12年前に家を飛び出し、恋人と同棲しながら芽の出ないバンド活動をしている。孤独な信雄の唯一の楽しみは毎日片道8キロ、鮭の孵化場に通い、ほかに恋心を寄せる職員的美知子と語り、鮭の稚魚たちの成長を眺めることだった。2日後に迫った亡き妻の三回忌、久しぶりに息子と再会する。信雄はこの機にもう一度息子と歩み寄りたいたいと思っていた…。



歩く、人

緒形 拳

林 泰文
占部房子
石井佐代子
大塚寧々
香川照之

製作モモキ・ケンプロダクション
プロデュース 脚本 監督 小林政広
撮影 北 信康
照明 木村匡博
録音 瀬谷 満
音楽 岩瀬 福島 行剛
編集 大塚トブ・ワタケ ヨシロ ヨシロ
アシスタントプロデューサー 上野俊哉
ラインプロデューサー 南 博之
助監督 森元修
制作担当 波多野ゆかり
音楽サン・サーン 動物たちの謝肉祭より
アレンジ 櫻原龍也
音楽アドバイザー 中澤 寛
テーマ曲「水族館」アレンジ 佐久間順平
撮影助手 馬場 元
照明助手 三善章彦
照明協力 新保次 / 古村勝
監督助手 丹野雅仁 / 塚本 敬
制作助手 橋場敏子 / 松原由紀枝 / 斉藤大和
メイキング 録音助手 水口 靖
メイキング 山野邊 敬
メイキング 岡村直子
タイピング 安谷昌彦
ネガ編集 門司康子 / 神田純子
日本芸術文化振興会 芸術団体等活動基盤整備事業作品
配給 オフィス・サントラ / モンキータウン・ロタシオン
2001年 35ミリカラー・モノラルビデオ・1時間45分



「歩く、人」の舞台となった実在の「日本最北の酒蔵」
北海道増毛郡増毛町増毛1丁目17
お問い合わせ tel.0164-53-1050
ホームページ www.kunimarc.co.jp
※カトルレス kunimarc@pocm.ocn.nc.jp

10/5(土)より感動のロードショー!

連日 12:40 2:40 4:40 6:40

★初日(10/5)舞台あいさつ:小林政広監督、林泰文(予定) [10/18(金)まで上映]
※ただし、10/11(金)の6:40の回は休映

特別鑑賞券1400円好評発売中!!
■当日/一般1700円、学生1400円、高・中・小・シニア1000円

●初日特別オールナイト実施!!
小林監督作品3本一挙上映と
小林政広監督徹底トークショー
10/5(土) pm.11:00スタート
上映作品
『CLOSING TIME』(96年/監督デビュー作)
『海賊版=BOOTLEG FILM』(98年)
『殺し』(2000年) 料金2400円均一

地下鉄中央線 一本町
九条駅
←大阪港
アルメイダ
モリイ
ナルド
パチコ
バチコ
交差点
大阪ドーム
6番出口
ナゴヤ
うどん
九条商店街

地下鉄中央線「九条駅」6番出口徒歩2分
シネ・ヌーヴォ
TEL.06-6582-1416
http://terra.zone.ne.jp/cinenouveau/